令和元年７月17日庁議資料
環境局・保健福祉局・消防局

熱中症対策の徹底について（お願い）

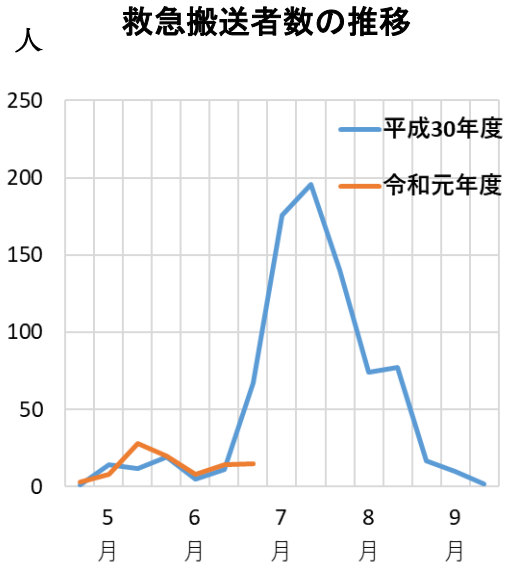
福岡市では，荒瀬副市長を本部長とする「福岡市熱中症対策推進本部」を設置し，関係局区が情報共有と連携強化を図りながら熱中症対策を推進しています。

昨年は「災害級の猛暑」となり，過去最高となる38.3℃を記録するとともに，過去最多の821人が熱中症により救急搬送されました。

熱中症は予防方法を知り，普段から気をつけることで防ぐことができます。

例年，梅雨明け以降に救急搬送される方が急激に増えることから，夏本番を迎える時期を捉えて，熱中症予防に向けた啓発に取り組むことが重要です。

ついては，以下を参考に，**全ての局・区・室を挙げて，熱中症対策を徹底していただきますようお願いします。**

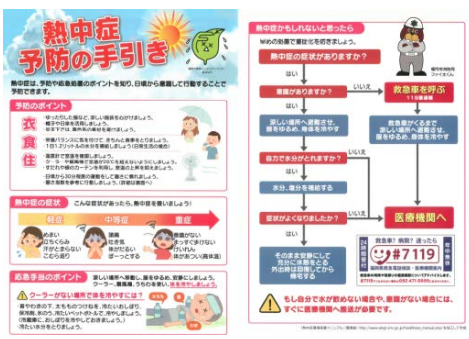


※7月10日までの救急搬送者数

平成30年度：129人　令和元年度：96人

＜取り組んでいただきたい主な内容＞

- 各局区が主催するイベントでの「こまめな水分補給」のアナウンス等
- 各局区が維持管理する施設での熱中症予防に向けた啓発や温度管理の適正化
- 高齢者の方々を対象とした講座等での熱中症予防リーフレットの配布
- 所属における熱中症予防リーフレットの配架



リーフレット

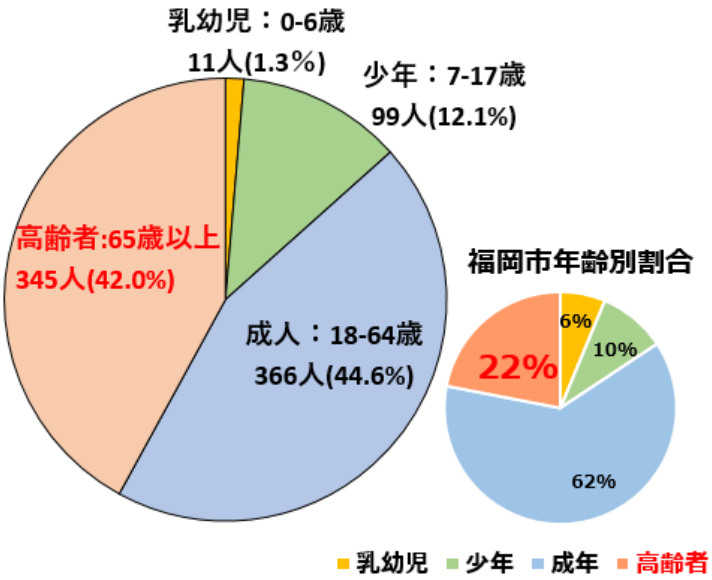
のぼり旗

リーフレット，のぼり旗が必要な場合はご連絡ください。

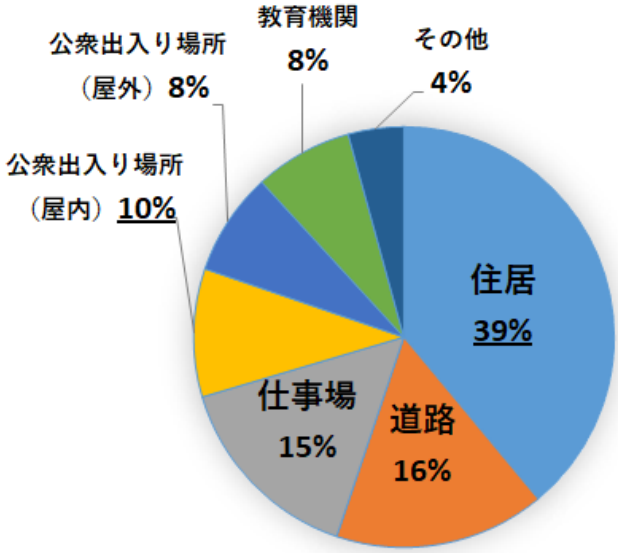
【問合せ先】福岡市熱中症対策推進本部
（事務局）環境局環境監理部環境保全課
担当：後藤，杉山（内2423）

参 考

○ 搬送者の年齢構成（平成 30 年度）



○ 発生場所（平成 30 年度）



高齢者の搬送が多い

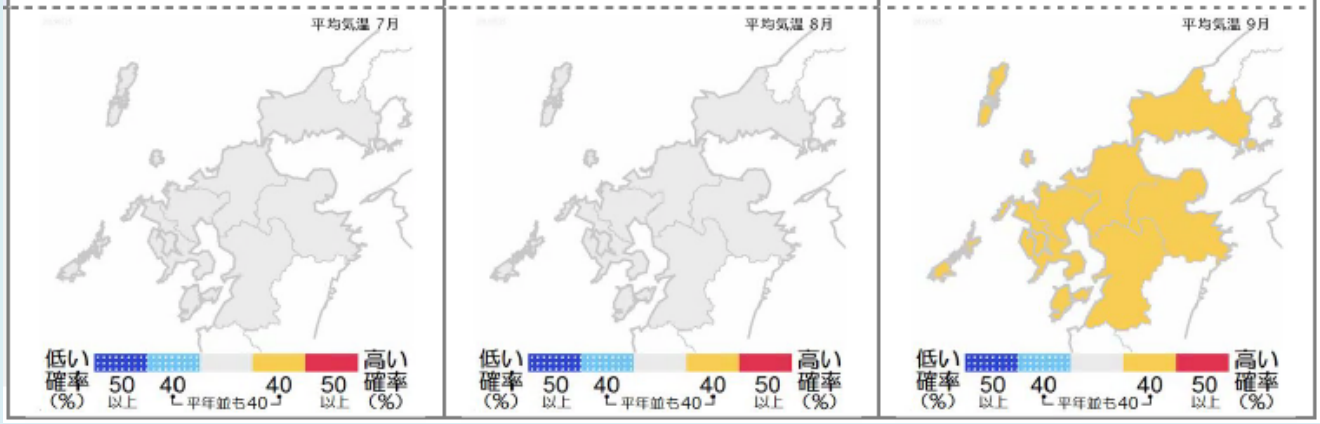
全人口の 22%だが，搬送者は 42%を占める

住居での発生が多い

公衆出入り場所（屋内）での発生も多い

消防局熱中症速報データより

＜向こう３か月の平均気温の見通し＞

（令和元年6月 25 日福岡管区気象台発表）

平均気温　７月	平均気温　８月	平均気温　９月
低 40　並 30　高 30% ほぼ平年並 の見込み	低 30　並 40　高 30% ほぼ平年並 の見込み	低 20　並 40　高 40% 平年並か高い　見込み